

久山かおる 学位論文審査要旨

主 査 浦 上 克 哉
副主査 山 本 美 輪
同 吉 岡 伸 一

主論文

認知症対応型グループホーム職員の看取りと死に関する態度 - 訪問看護ステーション
職員との比較 -

(著者：久山かおる、吉岡伸一)

平成26年 米子医学雑誌 65巻 6頁～18頁

参考論文

1. 認知症対応型高齢者グループホーム職員の看取り体験と死生観の関係

(著者：久山かおる、吉岡伸一)

平成25年 介護福祉学 20巻 34頁～43頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、地域で看取りケアに関わる認知症対応型グループホーム職員と訪問看護ステーションの看護職を対象に、看取りケアの質を向上させるための方策を検討するため、看取りに関わる教育や研修経験、死別体験などの死に関わる体験や資格と看取りの意識や態度との関連性について調査したものである。その結果、資格の種類や死に関する教育体験や看取りについての研修体験が死生観や看取りケアに関わる態度に影響を与えている可能性が示唆された。本論文の内容は、地域における看取りケアの質の向上のための職場における教育の有用性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。